

誕生！松川小学校区ひと・まちづくり協議会

はじまりを、
見に行く。

松川小学校区に、新しいまちづくり協議会が誕生しました。令和8年5月14日(木)、松川小学校区ひと・まちづくり協議会(ひばりが丘サロン)の設立総会及びキックオフ交流会が開催されました。今回産声をあげたのは、単なる会議体ではないと、誰かの「やってみよう」と、誰かの「やってみよう」が出会う場です。

準備会として重ねてきた話し合いや活動が、この日、ひとつの形になりました。会場には、節目の日にらしい緊張感と、ひばりが丘サロンらしいあたたかさがありました。ちょっとだけ背筋が伸びましたが、それ以上に何か始まりそうな予感にワクワクしました。これもひばりが丘サロンらしさだな、と感じました。

設立総会では、活動をけん引

してこられた準備会の古堅会長から、運営にあたり大切にできたことが話されました。続いて、協議会の金城会長からも、これからのひばりが丘サロンへの思いが語られました。大切にしてきたのは、ただ会議を開くことではなく、人が集まり、顔を合わせ、お互いを知り、つながりが生まれること。そうした一つひとつの積み重ねが、大きなうねりとなって、地域を動かす力になっていくのだと思います。



が活動や思いを語り、高校生も地域でやってみたいことを発表しました。少し緊張した声に、地域の方からは「応援するよ！」の声が返ります。その言葉に背中を押されるように、高校生の活動もこれから少しずつ広がっていくそうです。松川のこれから、しばらく目が離せない始まりになりそうです。(担当職員・後藤談)

こども緑日

7/26(日) 10:30~14:00

松川小学校地域連携室ゆいゆいホール

なは
セン
通信

Vol.119

2026年
7月号

目次

松川小学校区まちづくり協議会 P.1	
なはSDGs推進事業 P.2	
なは市民活動支援事業 P.3	
なは市民協働大学 P.4	

問い合わせ

なは市民活動支援センター

098-861-5024

C-KATU005@city.naha.lg.jp

過去の記事

なは市民活動支援センター
ホームページQR

令和8年度なはSDGs推進事業（助成事業）説明会

共感から、当事者へ



5月26日（火）なは市民活動支援センターで「なはSDGs推進事業（助成事業）説明会」が開催されました。

同事業は、地域の課題解決を目指す2団体に助成金を交付し、事業1年目は市の助成金を活用して実態調査や実証活動を行い、2年目には活動に賛同する市民や企業から出資を募って活動し、団体が設定した成果目標を達成した場合に本市が出資者に出資金を支払う仕組みとなっています。

多様な主体が地域の課題を自分事として捉え、事業実施団体と連携してともに課題解決を目指すことを目的としております。3年目以降はこれまでの活動でつながった企業や市民とさらに協働連携を深め、持続可

能な活動を目指しています。

説明会には昨年度出資募集を行った「一般社団法人琉球フィルハーモニック」の上原氏、「労働者協働組合ワーク」の横手氏、城間氏が参加し、2年に渡る活動と成果報告がありました。

参加者からは、事業継続性や出資募集の方法、採択ポイントなどについて質問が寄せられました。上原氏は「単なる補助金事業ではなく、出資を受ける以上、事業内容を精査し責任を持って進める必要がある」と説明し、城間氏は「伴走支援があったことで安心して挑戦できた。共感の輪が広がり、活動への信頼にもつながった」と振り返りました。



令和8年度なは市民活動支援事業

公開審査を実施しました！

5月31日（日）、6月6日（土）の2日間に分かれ、なは市民活動支援センターにて、令和8年度なは市民活動支援事業審査会プレゼンテーション審査会を実施しました。

なは市民活動支援事業は、多様なつながりで市民が共に助け合い、より良い暮らしを実現するため、那覇市で社会貢献活動を行う市民活動団体を支援することを目的に、市民活動団体の活動に対する助成金を交付する事業です。今年度は、19団体（20事業）の応募（スタートコース5事業、ステップコース12事業、協働事業コース3事業）がありました。那覇市で社会貢献活動を行う団体に助成金を交付するため、多種多様な団体が応募可能な点が特徴です。今年度は、食糧支援や子どもの体験格差を補う活動、地域と

高校生のつながりをつくる事業、子育て中の親を支援する活動等、様々な団体から応募がありました。

2日間のプレゼンテーション審査では、発表8分、質疑応答5分、



入れ替え2分の計15分間の持ち時間でプレゼンテーション審査を行いました。各団体とも緊張した様子でしたが、これまで事業を実施してきたことや、事業にかけた思いを熱く伝えていました。審査員からの質問に対しても、各団体ともしっかりと回答しており、実施したい事業に対して、どの団体も時間をかけて事業計画を考えているのだと感じました。プレゼンテーション審査は一般公開型で実施しました。地域活動をやってみようという市民の方は、非常に参考になったと感じています。また、申請団体も他団体のプレゼンテーションをみて、自団体と連携ができそうな団体とつながりを持つ場にもなったと感じています。

毎年、新しく市民活動を始めてみたいという団体や、さらに活動を発展させていきたいという団体から多くの応募をいただいています。

今回、借しくも助成金交付に至らなかった団体に対しても、しっかりと支援を継続していきたいと考えています。

採択団体は
コチラから
↓↓↓



令和8年度なは市民協働大学事前概要説明会

なは市民協働大学を受講する前に講座 に関するモヤモヤをすっきり解決！

5月29日(金)、令和8年度なは市民協働大学事前概要説明会を実施しました。

今年度のなは市民協働大学のテーマは、「防災」。第16期目を迎える本講座初のテーマです。

事前概要説明会では、講座全体の流れや講座の雰囲気について、参加者の皆さまと対話形式で受講前のモヤモヤを解決する時間となりました。また、昨年度テーマ「こども・若者みんなで、みんなのまちをつくる」の受講生である後藤氏(那覇市職員)からは、本講座を通じて「ぼんやりと見えていた地域という存在が講座を受けていく中でクリアになった」「地域の中で自分の役割を見つけることができた」と受講後の変化についてお話いただきました。

また、ご自身が経験した東日本大震災のことについても触れ、地域で取り組む防災の重要性についてもお話いただき、今年度の講座がより具体的に見えた時間になりました。

以下、当日に参加者からあった質問とその回答です。

質問①…欠席した時の資料は、後日受け取れますか？
回答…はい。欠席した日の資料につ

きましては、次回出席した時にお渡しいたします。また、受講生限定で各講座の収録データを受講後一週間以内にお送りします。

質問②…最終成果報告はどのようなことをしますか？
回答…レポートと個人発表を予定しています。具体的には、講座を通じて学んだこと、気付いたことをもとに、個人で「できそうなこと・やりたいこと」をA4サイズの企画書にまとめていただき、修了式において2分程度で発表していただきます。

質問③…予備日は、何のために設けられていますか？
回答…講座中は、台風シーズンと重なっているため、自然災害などで講座の実施が困難になった場合の予備日として設けています。



那覇市でボランティアしませんか？



私たちが那覇市でのボランティア活動をサポートします！

※那覇市では「協働によるまちづくり」をテーマに掲げ、地域社会の課題解決を目的に様々な事業を実践しており、その一環としてボランティアを求める団体とボランティア活動をしたい個人・団体のマッチングに取り組んでいます。

問合せ先

那覇市まちづくり協働推進課
なは市民活動支援センターG
ボランティア担当
竹尾・新垣まで

☎ 098-861-5024

✉ C-KATU005@city.naha.lg.jp



これまでのマッチング事例

- ・ こどもの居場所サポートボランティア (一般社団法人Team SUBAKO)
- ・ 困窮家庭にもクリスマスの特別な思い出を (チャリティーサンタ沖縄)
- ・ 琉球王朝祭り首里 運営サポート
- ・ 食糧支援サポートボランティア (ゆいまーの会)
- ・ 学習支援ボランティア
- ・ 防災中 (那覇市) ※防災イベント

なは市民活動支援センターについて



◆利用ご希望の方へ

なは市民活動支援センターの会議室等を利用ご希望の方は、「**利用登録**」が必要です（※利用審査があります）。

右のQRコードより利用方法をご確認ください。



◆施設利用料金

※1時間当たりの料金
※オンライン機材貸出可

	定員	面積	料金	冷房
会議室①	84人	約200㎡	1300円	400円
会議室②③	80人	約200㎡	1300円	400円
会議室③	30人	約100㎡	650円	200円
会議室④	8人	約40㎡	200円	100円
会議室⑤	12人	約30㎡	200円	100円
会議室⑥	12人	約30㎡	200円	100円
会議室⑦	5人	約30㎡	200円	100円
会議室⑧	20人	約45㎡	250円	100円
研修室①	16人	約30㎡	200円	100円
研修室②	16人	約30㎡	200円	100円

◆開館時間、休館日

月・火・木・金	9:00-21:00
水・土・日・祝日※	9:00-17:00
休館日	年末年始・慰霊の日

※7月から祝日も17時閉館となります（試行期間）

◆駐車場

なは市民協働プラザ地下駐車場（駐車台数：39台）
メカルパーキング（駐車台数：70台）

※なは市民活動支援センターをご利用の場合、駐車料金は減免の対象となります（例：2時間100円、3時間200円）

フードドライブ

フードドライブとは、お歳暮など、ご家庭に賞味期限は切れていないが保管されたままになっている「もったいない食料品」を、なは市民活動支援センター利用登録団体・女性支援・子ども食堂を運営している団体へお渡しする活動です。

「もったいない」から「ありがとう」へ変えていきませんか？



ご家庭にある食料品を
持参し当センターへ



食料品の振り分け



上記の団体を通じて、食料を
必要とする人のもとへ

ご注意いただきたいこと

- 賞味期限が明記され、かつ6か月以上あるもの
- 常温で保存が可能なもの
- 未開封で、中身に問題がないもの

ご寄付いただきたい食料品

お米、乾麺、缶詰、瓶詰、
インスタント食品、レトルト食品、
保存食（防災食）など



お米

今月の開催日は、

7月11日 土



@なは市民活動支援センター
1階ピロティ



毎月第2土曜日は、なは市民活動支援センター1階ピロティでつながるマーケットを開催！

県内中から美味しいものやてしごとが銘煎に集まります。
家族・ご友人を連れてぜひご参加ください。

なは市民協働大学院2026
受講生募集中



申込受付締切日

2026年7月10日(金)

←詳細はこちらのQRコードからご確認ください